



えがお いっぱい

園長通信《1号》



平成30年5月11日
岡山市立庄内幼稚園

- (教育目標)
笑顔いっぱいの幼稚園
○げんきな子ども
○やさしい子ども
○かんがえる子ども
○あいさつする子ども

27名の可愛い年少児を迎えて、年長児35名、全園児62名の子ども達との新たな園生活がスタートしました。初めての集団生活となる年少児には、年長児に手伝ってもらいながら生活することで、少しずつ緊張も和らぎ、園生活を楽しんでほしいと願っています。また、年長児には、お兄さんやお姉さん気分を味わいながら、年少児に声をかけたり手を貸したりすることで、進級した喜びや自覚をもって行動する姿を楽しみにしています。

さて、この「えがおいっぱい—園長通信ー」では、園での集団生活を通して一人一人が心豊かに成長することを願って、子ども達の姿や遊びの様子などをお知らせしていくこうと思います。そして、保護者の方や地域の方に本園教育への理解を深めていただけるように、また園との架け橋となるようにしたいと願っております。
どうぞ、今年度もよろしくお願ひ致します。



～友達だいすき 先生だいすき 幼稚園だいすきな子どもに～



お弁当のふたは上、おはしはこっちに置くんだよ



カブトをかぶらせてあげるね



一緒に花ジャー
スを作ろうよ！



先生がクマにな
っちゃった。逃
げろ～！



友達や異年齢児と一緒に遊ぶ楽しさを感じながら

年少児にとっては、親元から離れて初めての集団生活。戸惑いや不安を感じることもありましたが、「ジュース屋さんしよう」「先生あそぼう」と誘いかけたり、「おやつまだ食べないの?」と一日の生活の流れが分かってきて尋ねたりする姿が次第に見られるようになってきました。そして、組活動で先生や友達と一緒に楽しく遊ぶ姿も・・・年長児は、牛乳や弁当の準備のお手伝いをしたり、こどもの日の集いではカブトを作ってプレゼントしたり、遊び方を教えてあげたり…と、大忙しの毎日です。その姿が、とても頼もしく思える今日この頃、うれしい限りです！

幼稚園ならではの親子ふれあい活動を大切にして

年長組は進級して初めての参観日。一つ目のカブト作りは一人で、二つ目は親子で活動を楽しみました。親子遠足では、お家の方と一緒に美味しいお弁当を食べたりひざや胸に抱っこしてもらったりと、みんなお家の方と過ごす楽しさを満喫していました。そして、子ども達にも負けない笑顔で童心に帰ってはしゃぐお家の方の様子に思わずほほえんでいました。

幼児期の子ども達にとって、親子でふれあう時間は“愛されている”という実感につながるかけがえのないひとときです。毎日の子育てでは、本当に大変ですが、保護者の皆様に園での行事への積極的な参加やご協力をいただきながら、幼稚園ならではの親子ふれあいのよさを大切にしていきたいと考えています。



親子でカブト作り



親子遠足(高松城址へ)



学校支援ボランティアの方をご紹介します！

「学校支援ボランティア（岡山市教育委員会登録）」をお願いできる方を募集しましたところ、7名の方にご協力いただきました。プールや遠足、行事等のお手伝いや引率を中心にお願いする予定です。昨年度の3名の方（カタヤマさん、オノさん、ハママトさん）が引き続き快く引き受けてください、新たに4名の方にもご協力いただくことになりました。

『ヤブキさん、シオタさん、アキヤマさん、モリオカさん、どうぞよろしくお願ひします。』

幼稚園は、学校支援ボランティアだけでなく、地域協働運営協議会委員・婦人会・町内会・絵手紙講師等多くの地域の方にご協力いただくことにより、子ども達にとって有意義な保育活動や体験活動を通して「人とかかわる力の育成」につながっています。

園では、交流の前後に地域の方の温かさを感じたり尊敬の気持ちをもったりできるよう、子ども達と話す機会をとても大切にしています。どうぞ、ご家庭でも子ども達の交流や体験活動について話題にしていただき、地域への感謝の気持ちを育んでいけるようご協力ください。